

【テーマ4】行政のIT化の推進

めざす方向

- ◎情報システム経費の削減や業務の効率化、情報セキュリティの向上のため、市町村の情報化に対する積極的な支援、庁内の情報基盤及び情報セキュリティ体制の整備に取り組めます。
- (中長期の目標・指標)
- ・市町村の情報システムの効率化や情報セキュリティの向上を支援します。
- ・庁内情報システムの運用コスト削減や府職員の情報セキュリティの意識向上に取り組めます。

市町村の情報化支援

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H30.3月末時点）>
<p>■自治体クラウド（※9）の導入支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に調達した3町村（豊能町、河南町、千早赤阪村）の自治体クラウドの構築・運用を支援する。 ・自治体クラウドの今後の方向性を検討するとともに、導入を希望する市町村がある場合はコーディネートを行う。 <p>(スケジュール)</p> <p>3町村自治体クラウドの構築・運用</p> <p>29年4月～ 構築開始</p> <p>30年1月 河南町運用開始</p> <p>(31年2月 千早赤阪村運用開始)</p> <p>(31年10月 豊能町運用開始)</p> <p>自治体クラウド検討会を開催予定</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3町村自治体クラウドの構築に関し、技術的な助言や情報提供等を行い、円滑に運用開始できるよう支援する。 ・自治体クラウド検討会を開催し、各自治体のニーズを把握するとともに、今後の方向性を検討する。 <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3町村の運用コストの削減 ・他の市町村の自治体クラウド導入検討の促進 	<p>■自治体クラウドの導入支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3町村自治体クラウド事務局の一員として、カスタマイズの抑制や共通仕様の整理等に関する協議に参加するなど、システム構築及び運用開始に向けた支援を実施。 ・3町村合計で、約4割のコスト削減 ・平成30年1月 河南町運用開始 ○自治体クラウドの今後の方向性を検討するため、市町村と共に検討会等を開催。 ・3町村と同規模団体への個別説明（4～8月） ・自治体クラウド検討会・勉強会（9月） ・大規模IaaS勉強会（9～10月 計4回） <p>※IaaS：Infrastructure as a Service 大規模都市における仮想化基盤</p>
<p>■大阪版自治体情報セキュリティクラウド（SC）（※10）の運用支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SC移行済み市町村の安定運用を支援する。 ・平成29年度にSC移行予定の市町村を支援する。 <p>(スケジュール)</p> <p>29年4月 運用開始（33団体）</p> <p>29年度 5団体移行予定</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日の監視によりサイバー攻撃を防ぐとともに、インシデント発生時は市町村と連携して即座に対処する。 ・移行予定の市町村の課題等を集約し、SCの運用事業者と調整する等円滑な移行を支援する。 <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移行済み市町村の外部要因によるインシデントの防止 ・市町村の安定した運用環境の実現 	<p>■大阪版自治体情報セキュリティクラウド（SC）の運用支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○府内市町村を対象とした説明会を開催し、SCの概要や情報セキュリティインシデントが発生した場合の対応について説明。 ・大阪版自治体情報セキュリティクラウド勉強会(5月) ・平成29年度情報セキュリティ技術セミナー(8月) ○市町村担当者向けのアンケートを実施し、各団体における現状の課題等を集約の上、SCの運用事業者と改善に向けて調整。(7月) ○定例会を毎月開催し、運用事業者と課題を共有し対

・移行予定団体の円滑な移行

応。(計 12 回)
○今年度移行予定の 5 団体が、円滑に移行を完了。
(府内 38 市町村において運用中)

市内情報システムの運用コスト削減、セキュリティ強化

<今年度何をするか(取組の内容、手法・スケジュール)>

■共通プラットフォーム(※11)の基本設計等の実施
・平成 30 年度の共通プラットフォームの導入に向け、導入計画の策定等、基本設計を実施する。
対象(予定)：市内 56 システム、約 100 サーバ

(スケジュール)

29 年 4 月 基本設計・施工管理委託契約締結
5 月～ 各システム調査、機器構成の決定
運用ルール案、調達仕様検討
10 月～ 予算要求

<何をどのような状態にするか(目標)>

◇活動指標(アウトプット)

・市内のシステム所管課と調整の上、共通プラットフォームの導入計画や運用ルールの策定等、基本設計を実施する。

◇成果指標(アウトカム)

(定性的な目標)
・統合対象となるシステムの運用経費削減や一元的な管理による情報セキュリティの強化を図る。

<進捗状況(H30.3月末時点)>

○移行予定システムの調査を実施。(6月)
○導入計画を策定し、行政情報化推進主任者連絡会議や次長会議で周知。(8月、9月)
○調査結果を基に基本設計を行い、運用ルール案を作成。(9月)
○関係課と調整の上、所要費用を予算要求。(11月)
○調達仕様書を作成し、早期発注により調達開始。
(3月末現在調達手続中)

サイバー攻撃対応力の強化

<今年度何をするか(取組の内容、手法・スケジュール等)>

■府職員のセキュリティ意識の向上
・府職員に対し、情報セキュリティに対する意識やサイバー攻撃への対応力を高めるための研修等を実施する。

(スケジュール)

随時実施

<何をどのような状態にするか(目標)>

◇活動指標(アウトプット)

・府職員に対し、不審メール対応訓練や情報セキュリティ研修を実施する。

◇成果指標(アウトカム)

(定性的な目標)
・府職員の情報セキュリティに対する意識やサイバー攻撃への対応力の向上

<進捗状況(H30.3月末時点)>

○新規採用職員研修(4月)及び個人情報の適正管理に関する全体研修(5月)の中で、情報セキュリティに関する研修を実施。
○おでかけ情報セキュリティ研修を実施。
(延べ 31 回 915 名参加)
○職員(457 名)を対象とした標的型メール対応訓練を実施。その後のフォローアップとして、その結果と対応方法を周知。(平成 30 年 1 月)

【部局長コメント（総評）】

<取組状況の点検>	<今後の取組みの方向性>
<p>■市町村の情報化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体クラウドの導入支援等 当初の目標を達成することができました。 ・大阪版自治体情報セキュリティクラウド（SC）の運用支援等 当初の目標を達成することができました。 <p>■庁内情報システムの運用コスト削減、セキュリティ強化</p> <p>当初の目標を達成することができました。</p> <p>■サイバー攻撃対応力の強化</p> <p>当初の目標を達成することができました。</p>	<p>■市町村の情報化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体クラウドの導入支援等 引き続き、3 町村の自治体クラウド立ち上げを支援しつつ、他団体での導入についても実現を目指して調整を進めます。 ・大阪版自治体情報セキュリティクラウド（SC）の運用支援等 引き続き、SC の運用事業者と連携を図りながら、安定した運用環境の実現に取り組みます。 <p>■庁内情報システムの運用コスト削減、セキュリティ強化</p> <p>共通プラットフォームを構築するとともに、各システムの移行を進めます。</p> <p>■サイバー攻撃対応力の強化</p> <p>引き続き、希望する所属に対し、おでかけ情報セキュリティ研修を実施するとともに、平成 30 年度内に不審メール対応訓練を実施します。</p>